

file 07

社会活動

佐藤彩己子さん

環境NPO緑の生活(くらし)ネットワーク
事務局長
熊本県国土利用計画審議会委員
熊本県地球温暖化防止活動推進員

PROFILE

1952年福岡市生まれ。
環境問題についての消費者教育を行っている。
熊本県環境センター環境教育指導者。

経済の成長の方向性を握るのは消費者
どんな商品を選ぶばいいのか考えて

「緑の生活ネットワーク」を立ち上げたきっかけはなんですか。

佐藤 20年以上前のことになりますが、ある時、犬を川遊びに連れていくと「農薬が流れているから、遊ばせない方がいい」と、近所の方に声をかけられました。また、除草剤がかかった草を食べたネコが死んだこともあり、これは目線の低い子どもも同様に危険性があると思ったことから活動を始めました。その後、熊本県の21ファンド助成事業でモンタナ州立大学に行き、体験受講したことが団

体の発足につながりました。

「モンタナではどんな経験をしましたかか。」

佐藤 環境を守ることと破壊することは紙一重だと実感しました。ストレスマネジメントで、自然と触れ合う遊びがあり、「釣りで生きた稚エビを撒き餌にしたら、エビが増殖すぎてサーモン種の魚を食べつくした。その結果、サーモンを主食としていた鷹がいなくなってしまった」という話を聞きました。何気ない人間の行動が自然を破壊してしまうのです。また、モンタナでは環境に配慮した商品しか売っていないことを知り、経済の成長の方向性を握るのは消費者だと気づきました。日本にも環境保全型の商品はありますが、コストがかかるため値段が高く売れていません。どんな商品を選ぶばいいのか考える消費者(グリーン・コンシューマー)の教育が必要であると強く思いました。

2007年	2003年	2001年	1994年	1985年	1977年
国際ソロプチミスト熊本「環境貢献賞」受賞	第12回熊本県「くまもと環境賞」個人部門受賞	環境NPO「緑の生活(くらし)ネットワーク」事務局長就任	環境NPO「緑の生活(くらし)ネットワーク」事務局	モンタナ州立大学環境学科で体験受講	結婚 父親の会社から独立、エコショップを開業

輝きの軌跡

佐藤彩己子さんの
キャリアストーリー

環境NPO緑の生活(くらし)ネットワーク事務局
熊本市東区西原1-5-5
E-mail: shizenseikatu@ezweb.ne.jp



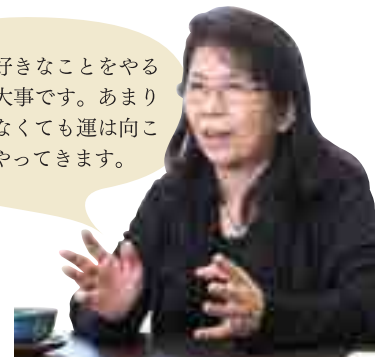
「活動する中で大変だったことはありますか?」

佐藤 多くの問題に直面し、やめようと思ったことは何度もありました。それでも多くの人との出会いや支援があったからこそ、活動を続けることができました。幾つかの賞をいただいたことも励みになりましたね。
「佐藤さんの原動力は何ですか?」

佐藤 人とのつながりと、最後まで諦めない心です。会の代表から言われ続けた「あなたの取り組みは志が

高いのだから、諦めたらいかん」という言葉が、私を支えてくれました。一人ではできないことも、同じ志の人と協力することで、必ず何かを変える力になると信じています。

自分の好きなことをやるのが大事です。あまり気負わなくても運は向こうからやってきます。



取材担当
熊本県立大学2年
東史華